

令和 4 年（2022 年）2 月那覇市議会定例会

代表質問発言通告書（1 日目）

令和 4 年 2 月 15 日（火）

割当時間（答弁を除く）
自 民 党 60 分
公 明 党 45 分
ニ ラ イ 40 分

順位	氏 名 （会 派 名）	発 言 事 項	発 言 要 旨
1	山 川 典 二 （ 自 民 党 ）	2022（令和 4） 年度施政方針に ついて	（1）（節目の年に平和を思う P 5）、（交流の輪を を広げ平和を希求するまちづくり P 13）に関 連して伺う ① 沖縄戦及び十・十空襲の概要について ② 戦後 77 年を迎え戦争体験者の貴重な証 言の記録・保存への取組について ③ 証言映像を制作し市内小中学校での平 和教育に活用するとあるがどう活用する のか聞く ④ 那覇市内には地下壕が 2017 年度時点で 92 か所存在し、そのうち 13 か所を埋め戻 し 3 か所の入り口にフェンスを設置した との報道があった 理由と現況、今後の取組について ⑤ 沖縄県による第 32 軍司令部壕の復元へ の取組の現状及び那覇市として公開時期 を明示する必要があると思うがどうか ⑥ 城間市長の「平和」に対する見解及び以 下最近の国際政治状況の認識について伺う ア 台湾有事問題及び那覇軍港を使用し た米軍軍事演習について イ 中国の軍事拡大路線と「超限戦」につ いて

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			ウ 北京オリンピックへの日米を始め主要先進国首脳の公式不参加について エ 北朝鮮のミサイル発射問題について オ ロシアによるウクライナ侵攻問題について ⑦ 「那覇市平和祈念資料館」創設を希求するが見解を聞く ⑧ 市長は秋の市長選挙に出馬するのか伺う (2) (伝統文化を次世代へつなぐ P 6) に関連して伺う 首里城再建について ① 那覇市に寄せられた首里城復興に関する寄附金総額と対応について ② 沖縄県は「首里城復興基金」への寄附金受付を終了し4月から「県首里城歴史文化継承基金(愛称・首里城未来基金)」を創設し寄附を募るという。那覇市の見解について ③ 首里城再建への本市建設業者等の活用策について (3) (市民との信頼を深める職員の育成と組織づくり P 23)「(仮称)那覇市デジタルトランスフォーメーション(DX)推進計画」について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

代表質問（１日目） 令和４年２月１５日（火）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	吉 嶺 努 (自 民 党)	市長の政治姿勢について	(１) 2022 年４月から始まる沖縄県の「こども医療費助成制度」、中学卒業までの医療費無償化を他の市町村のように実施時期を早めることがなぜできなかったのか理由を問う (２) 待機児童問題の解消から見えてきた保育現場で次なる課題は何であるか市長自身の見解を問う (３) 市民所得向上について 2018 年、マスコミの取材に対し、城間市長は「那覇市の成長可能性を着実な経済成長につなげるべく、経済振興政策を市政の重要な柱に位置付けて各種施策を展開してきた」と語っているが、那覇市の経済振興とは何であったか、また施策を実施してきた那覇市民の所得向上につながった主な施策は何か市長自身の考えを問う (４) 沖縄振興予算について ① 沖縄振興予算が減額されたことによる本市への影響について市長の見解を問う ② 過去10年で一括交付金を活用し実施されてきた施策で成果目標に達していない施策はいくつあり、達成できなかった理由は何か見解を問う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(5) 新型コロナ感染症対策について 新型コロナウイルス感染拡大第6波に向けた対策と基本的な考え方、新型コロナウイルス感染拡大防止への備えは何をしてきたのか問う (6) コロナ禍での経済対策について ① 第5波までの新型コロナ感染症について、予算の執行や事業展開について問う ② 基幹産業である観光関連産業事業者へ支援が十分でないことについて市長自身の見解を問う。また事業者に対する各種税について減免や支払いの猶予の要請など関係機関等に市長自ら行ったか問う (7) 防災行政について 現行の那覇市地域防災計画で市民や観光客の皆さんを災害から守れるか市長の見解を問う (8) 第5次総合計画について 計画の進捗と見直しについて市長の見解を問う 【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

代表質問（１日目） 令和４年２月１５日（火）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	奥 間 亮 (自 民 党)	1 議会对応について	(1) 地方自治における議会の重要性について、どのように考えているか、市長部局と教育委員会の見解をそれぞれ問う (2) 令和元年６月２０日の本会議において、私の質問に対して、那覇市は「市長は議会での答弁、あるいは議会とのお約束、これについて庁議等々の場で全部局長に対して、こういうことを言っております。議会で答弁したことについては、丁寧に対応してください。特に提案や要望などに対しては前向きな、しっかりと対応をお願いしますということで、これは我々への業務指示だと感じております。それに基づいて我々部局長はしっかりと対応していくということでございます」と答弁しているが、実際のところ、これまで那覇市は議会答弁を重んじ、各議員からの指摘や要請について重く受け止めて対応しているのか (3) 令和３年１０月８日の那覇市議会各派代表者会議において知念副市長から「質疑に対する答弁としましては不正確なものであり、これにより委員会審議を混乱させたことについて、担当副市長として深くおわびを申し上げます。誠に申し訳ありませんでした」と謝罪があったが、議会を長時間にわたり不必要に空転させ、議員の質問に対して真摯に答えない、これらの議会对応について城間市長はどのように考えているのか
		2 那覇市の憲法違反及び違法行為について	(1) 那覇市による違法行為（違法換地処分）について、令和元年８月５日の本会議において、上告して最高裁で勝つ見込みについて質問したところ、城間市長から「厳しいということは聞きましたけれども」との発言があった。また、令和２年９月８日の本会議では「今考えれば、上告断念すればよかったという反省もありますか」との問いに対し、城間市長は「結果としてそのようになるとは思いますが、けれども、そのときに揺れ動くものがあつた

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 居住環境整備について	というのは確かでございます」と答弁している。このように、上告して勝つ見込みについても厳しく「断念すればよかった」という反省があるにも関わらず、上告によって原告をさらに苦しめ、これまでの職員の労力や市民からの税金を源流とする裁判費用としての公金を失うという実害・損害が出ていることについて、城間市長はなぜ責任を取らないのか。また、結局は上告不受理、門前払いとなったことは、那覇市として上告及び公金支出の目的を果たすことができたと考えているのか、それともできなかったと考えているのか (2) 令和3年2月の本会議において城間部長から「顧問弁護士へ相談する中で原告が求めている造成工事の実施については司法の判断を超えるのではないかと、そういった場合に住民監査請求についても危惧されるということをおアドバイスいただいている」と答弁があったが、そのアドバイスがあったのは何月何日か (3) 「久米至聖廟裁判」について、令和3年9月7日の本会議において、那覇市の違憲・違法行為に関し、本員が「法解釈を誤って憲法違反・違法行為をしてしまった当時の責任というのは、当時の市長が取るのか、今の市長が取るのか、どちらか」という趣旨の質問に対し、那覇市は答弁を避けたが、これについて城間市長の答弁を求める (1) 土地区画整理事業における宅地で施工する擁壁について、その擁壁設置の際は、建築確認の申請は必要か否か認識を問う (2) 「自立式擁壁は、建築基準法において構造計算の取扱いに一部疑義があり、建築確認を受け付けていない」旨、那覇市は見解を示しているにも関わらず、真嘉比古島第二地区の土地区画整理事業において、宅地に自立式

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			擁壁が6か所設置されていることが、那覇市の現地踏査によって明らかになっている。 (那覇市の答弁) これらの箇所について、私が「現在危険な状況になっていないか、現時点での安全性を再調査すべきではないか」と本会議で質問したが、直ちに調査することについて那覇市は明言を避けている。これらの箇所について令和4年現時点での安全確認を行わないのはなぜなのか、その理由を問う (3) 「マンション管理適正化推進法」や「マンション建て替え円滑化法」の改正に伴い、良好な管理状況の分譲マンションを認定する「管理計画認定制度」や「マンション管理適正化推進計画」を策定・導入する自治体が増えている。市内における住環境の整備をさらに推進するためにも、那覇市はこれらの制度等を導入するなど新たな取組を進める予定はあるか
		4 水道行政について	(1) 昨年の代表質問において、本員から「子メーターの取替えについて、取替費用を公費で負担した場合の経費と、無償貸与を行った場合の経費について」質問し、さらに「公費負担及び無償貸与を検討」について確認を行ったところ、これらに対する答弁があり「調査・検討していく」とのことであったが、その現状と調査及び検討の進捗について問う (2) 令和3年9月7日の本会議において「解約合意書に乙が合意した時点で違約金債務の存在を乙は自分で認めていることになりませんか」との質問に対し「乙は認めているというところでございます」との答弁があり、那覇市上下水道局は、同契約における乙が解約合意書に合意した時点で乙自ら違約金債務の存在を認めていることになるという見解を示した。この見解は、いつから認識していたのか、その日付及びタイミングを問う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		5 基地問題について	(1) 那覇市における「基地問題」を全て挙げ、その全ての解決策を問う (2) 60 年以上前から辺野古には米軍基地がすでに存在しており、字辺野古の総面積の約 75%を米軍基地（キャンプ・シュワブ）が占めている 辺野古区は計 10 班で構成されているが、辺野古区民は基地の米軍部隊を「11 班」と特別に位置づけ区民運動会に参加させるなど、住民と共に地域活動を行うなどして交流を深めてきた キャンプ・シュワブは名護市に存在し、普天間飛行場は宜野湾市に存在しているところ、この 2 つの米軍基地を統合することが日米で合意されている 統合の方法については、普天間の滑走路（飛行場）をキャンプ・シュワブへと移動（移設）させることが計画されており、キャンプ・シュワブにおいては、沿岸を埋め立てて、既存の陸地と合わせて代替滑走路を造ることが進められている。そこで質問する 城間市長は、このキャンプ・シュワブ統合による普天間飛行場返還計画に、なぜ反対しているのか (3) 「新基地建設」と呼ばれる、浦添沿岸の埋め立てと軍港建設について、なぜ城間市長は反対せず賛成しているのか
		6 政治交渉について	市民から「城間市政は翁長市政と違い、政治交渉力が無い」と批判する声がある。城間市長は、これまでに何回、閣僚や与党国会議員に対して直接交渉してきた経験があるのか、また、以前議会で「役人に会うよりも大臣に直接要請するのは効果があると思いますか」との質問に対し、城間市長は「私としましては、やはり大臣に会うということは、トップに会うということは、沖縄担当のトップに会うということですから、沖縄の那覇市の気持ちは受けとめてもらっているというふうに思っております」と答弁しているが、大臣や与党国会議員に直接要請することと、職員に要請することは効果として何が違うと思うか

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		7 沖縄都市モノレール株式会社の資本金額の減少について	市民にとって、直接・間接的にどのような影響があると考えるか
		8 高齢者福祉について	高齢者の住まいや住環境の整備について、那覇市はもっと力を入れるべきである。本市における「賃貸住宅の高齢者入居拒否問題」や高齢者向け住宅政策など、高齢者の居住に関する課題への対応状況と、今後の取組について問う
		9 教育行政について	(1) 学校の先生方への業務負担を軽減し、より手厚くサポートすべきである。いわゆる「教職員の多忙化問題」とは具体的に何か、また、その「多忙」の定義は何か、どうすれば解決できるのか、その方策と見解を問う (2) 那覇市教育委員会及び学校現場における「D X」についての今後の取組と、具体的なスケジュール及び計画について (3) 那覇市教育委員会は、市長部局のデジタル化推進室と共同でD Xを進めようと考えているのか、また、どのように連動していくのか具体的な取組について、教育長の考えを問う (4) 学校徴収金の使途と内訳、年間一人当たりの平均額 (5) 沖縄は、小学校から中学校に上がると全国学力テストが全国最下位になるのはなぜなのか、中学3年間で何が原因があるのか、見解を問う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		10 経済観光行政について	(1) 牧志公設市場衣料部・雑貨部の閉場後について (2) 沖縄の若者の離職率と無業者率が高いのはなぜなのか、市の分析を問う (3) 沖縄の離婚率や若年妊娠率が高いのはなぜなのか、経済面からの分析と見解を問う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、上下水道事業管理者 関係部長

代表質問（１日目） 令和４年２月１５日（火）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	糸 数 昌 洋 (公 明 党)	1 新型コロナウイルス感染症への対応について 2 市民生活への対応について 3 子育て支援と子ども政策について	新型コロナウイルス感染症のパンデミックが宣言されてから３年目を迎えた。ウイルスの変異株による感染の再拡大はかつてない規模の広がりをもたらし、世界的に依然として厳しい状況が続いている。以下問う (１) 未曾有のコロナ危機があらわにした社会の課題に対する市長の認識について見解を問う (２) 本市における第６波の状況と対応について (３) ＰＣＲ検査等無料化の実施状況について (４) ３回目のワクチン接種事業の取組について 新型コロナウイルスは社会的に最も弱い人々に最も大きなリスクを突き付けているが、社会全体が被災している中で、支援が必要な人たちが見えづらくなっていると言われている。コロナ以前と現在の状況及び対応について問う (１) 生活困窮者等の状況と生活支援について (２) サポートを要する高齢者の状況と対応について (３) 障がい者の状況と対応について (１) 子育て世帯への臨時特別給付の実施状況について (２) 子どもの貧困対策の進捗と今後の取組について

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 地域経済回復への取組について	(1) これまでのコロナ感染症経済対策の実施状況と成果について (2) コロナ期観光回復戦略に基づく観光産業回復への取組について (3) I C T産業振興への取組について
		5 復帰50周年への対応について	復帰50周年の意義と本市としてどのように迎えるのかについて、見解と対応を問う
		6 新年度予算について	対前年度比15億200万円の減額予算となったが、予算編成において沖縄振興一括交付金など県支出金の減額に対する対応をどのように行ったのか問う
		7 平和文化行政について	(1) 沖縄戦体験者証言記録映像制作業務の意義と事業概要について (2) 旧日本軍第32軍司令部壕の保存継承の取組の進捗について (3) 御茶屋御殿復元の意義について、改めて当局の見解を問う
		8 人間の安全保障について	(1) 2030年に向けて国連が推進している持続可能な開発目標(SDGs)が採択されてから本年で7年を迎える。本市における取組の状況を問う (2) 施政方針にある「ゼロカーボンシティ宣言を目指す」意義と取組について問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

代表質問（１日目） 令和４年２月１５日（火）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	幸 地 わかえ (公 明 党)	1 学びの保障 について	本市の小中学校において、コロナ感染が不安でやむなく自宅で過ごしている児童・生徒がどれだけいるのか人数を伺う。また、その児童・生徒に対して、どのような支援を行っているのか問う
		2 施政方針に について	(1) 本市小中学校のスクール・サポート・スタッフの配置事業について (2) G I G Aスクール構想実現に向けての取組について ① デジタル教科書導入の可能性について ② I C T支援員の配置について (3) まなびクーポン事業について
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

代表質問（１日目） 令和４年２月１５日（火）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
6	翁 長 俊 英 (公 明 党)	2022（令和４） 年度施政方針に ついて	（１） 協働によるまちづくりのさらなる推進に ついて 自治会の役割について問う （２） 那覇市の特色を活かした土地利用を進め るまちづくりについて 那覇軍港移設に関する協議の状況と跡地 利用の進捗状況について問う （３） 災害に強い都市基盤の整備で安全安心の まちづくりについて 石嶺線や真和志線、一銀線等の都市計画 道路の進捗状況について問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

代表質問（１日目） 令和４年２月１５日（火）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
7	多和田 栄子 (ニ ラ イ)	1 2022（令和４）年度施政方針について	令和４年度は市長二期目の総仕上げの年である。全力で市政運営に取り組むと述べている。市長の公約達成状況と施政方針への決意を伺う
		2 一般会計予算の特徴について	一般会計予算は１,５９５億１,５００万円であり、前年度比０.９％、１５億２００万円の減である。財政調整基金から取り崩して対応とのことである。財政の見通しについて伺う
		3 沖縄振興予算（一括交付金）について	２０２２年３月末で期限を迎える一括交付金の取組状況について、効果と課題について伺う
		4 名護市長選挙について	名護市長選挙は、辺野古新基地建設反対への賛否を明確にせずに現職候補が当選した。マスコミ調査では辺野古基地建設に反対の名護市民が６０％を超えている。このことは何を示しているのか。市長の見解を伺う
		5 那覇軍港内での訓練について	多くの民間機が発着する那覇空港に近い那覇軍港において、武器を持つ兵士らが訓練を強行している。人道支援や非戦闘員避難を目的とした訓練が予定されているという。このような訓練への使用が基地強化につながりかねない。市長の見解を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

代表質問（１日目） 令和４年２月１５日（火）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
8	山 田 マドカ (ニ ラ イ)	1 防災について	(1) １月１６日未明に気象庁から発表された「津波注意報」での本市の対応について伺う (2) 「津波注意報」の時に防災行政無線からサイレンが鳴っていたが、災害時（警報等発表時）には、市民へどのような方法で情報伝達を行っているか (3) 災害時には、防災の職員のみでの対応には限界があると思うが、地域の自主防災組織との連携や人材育成が必要ではないか、これまでどのような活動を行っているか (4) 災害時の応援協定を締結している企業や団体との連携について、災害時に実際に活用した実績はあるか (5) ２月「市民の友」で防災マップの配布が市内全戸にあったが、活用方法について伺う
		2 コロナ感染について	３回目接種も始まり、５歳～１１歳までのワクチン接種も始まるが、市の対応を以下伺う (1) ５歳～１１歳へのワクチン接種のスケジュールを伺う (2) １０代のコロナ感染による死亡者数と接種後の副反応と思われる死亡者数について伺う (3) ワクチン接種後に副反応が出た場合はどこに相談すれば良いのか伺う (4) 副反応の周知について伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 ヤングケア ラーについて	その後のヤングケアラーの調査・対応の進捗状況を伺う
		4 性教育について	(1) 那覇市で小中学校への性に対する教育はどのように行っているのか伺う (2) 那覇市での届出をした10代の妊婦数について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

代表質問（１日目） 令和４年２月１５日（火）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
9	糸 数 貴 子 (ニ ラ イ)	1 ジェンダー 平等について	(1) 「社会のあらゆる分野において、2020年までに指導的地位に女性が占める割合が、少なくとも30％程度になるよう期待する」としていた内閣府の目標が先送りになり、2030年を目標に動き始めている。行政は率先して実現しなければならない。本市の管理職への女性登用について、現状と課題、今後の計画について伺う (2) 管理職登用を進めるに当たっては、女性が働きやすい環境整備が必要である。セクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメント、マタニティ・ハラスメントの防止等含め、職場における女性活躍推進について、現状と課題、取組状況を伺う (3) 会計年度任用職員について、男女の割合を伺う (4) 審議会・委員会における女性登用について現状と課題、今後の計画を伺う (5) 待機児童の解消について、施政方針には待機児童ゼロが見えてきたこと、ゼロになることが目的ではなくスタートであるという力強い言葉があった。待機児童ゼロの実現に向けた見通しと、その先のサービス充実について伺う (6) 女性への暴力と女性の貧困の問題はつながっている。DVの被害から逃れるための離婚や、性暴力や虐待の問題を抱えて家出をして危険な目にあう少女たちの存在、望まない妊娠による出産、暴力のPTSDで働くことが困難であったり、精神疾患を患ったりと、女性の貧困対策の根底に暴力防止がある。DV、性暴力、性虐待等、女性への暴力の問題解決のための那覇市の取組について伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(7) 12月に給付された子育て給付金について、DV被害で避難している場合や、9月以降に離婚した場合に給付金が夫に振り込まれ、実際子育てをしているのに受け取れないということが起こった。のちに是正され、支給が可能になったが、そもそも児童手当が世帯主主義ではなく、母親あるいは子供の口座で受け取れるようになっていけば、このような問題を減らすことができる。世帯主でなくても母親や子供が受給者になれるよう柔軟な対応ができないか伺う (8) 選択的夫婦別姓制度は、ジェンダー平等へ向けた一丁目一番地と言われる。どちらかの姓を選択できないまま婚姻届を出せずにいる人、あるいは通称使用をしつつ名前の使い分けで煩雑な思いをしている人、夫が名字を変えたことに罪悪感を持っている女性もいる。国の法整備の問題ではあるが、選択的夫婦別姓制度導入についての市長の見解を伺う
		2 子どもの権利条例制定について	「子どもの権利条例」の制定について、新年度を迎えるに当たり、これまでの進捗と、今後の取組計画を伺う
		3 那覇文化芸術劇場なは一について	(1) 那覇文化芸術劇場なは一について、バリアフリー対応についての要望等があがっており、順次対応していくということだったが、進捗状況について伺う (2) トイレについて、市民からの声が届いている。サインが分かりづらい、おむつ替えのコーナーについても場所が分からなかった、子ども用のトイレが欲しい、1階の女子トイレが狭すぎる、高齢の方にとっては照明が暗すぎないかなど、なは一に直接寄せられている要望もあるか。また、今後の対応について伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(3) ホール等の扉にストッパーが無く、イベント運営時に開け閉めが大変だという声があるが、対応は可能か (4) なは一とは今後、多くの芸術作品が上演されていくだろうが、那覇市の子供たちが文化芸術に触れる機会の提供として、なは一とで開催する有料公演に使えるような子供用の優待チケット、クーポンのようなものを配布するなど検討できないか 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

代表質問（１日目） 令和４年２月１５日（火）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
10	瀬名波 奎 (ニ ラ イ)	認定こども園 (公立・公私連 携型) について	(１) 認定こども園を導入した経緯及び意義について伺う (２) 認定こども園の安全管理及び休業運用について伺う
			【答弁を求める者】 関係部長